

京都市消費者物価指数 令和5年度平均

2020年(=100)基準

令和6年4月19日
京都府企画統計課
電話:075-414-4507

概況

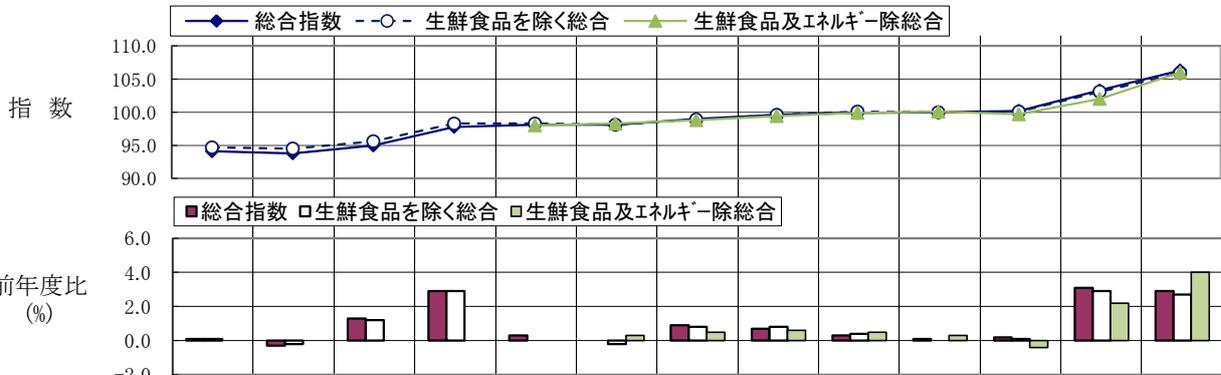
- (1) 総合指数は106.3 前年度比は2.9%の上昇
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は105.9 前年度比は2.7%の上昇
- (3) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は106.0 前年度比は4.0%の上昇

◎ 前年度との比較(10大費目)

[上昇] 食料7.4%、教養娯楽5.1%、交通・通信3.4%、家具・家事用品7.9%、住居0.7%、被服及び履物3.1%、保健医療2.2%、諸雑費1.2%、教育0.9%

[下落] 光熱・水道△12.0%

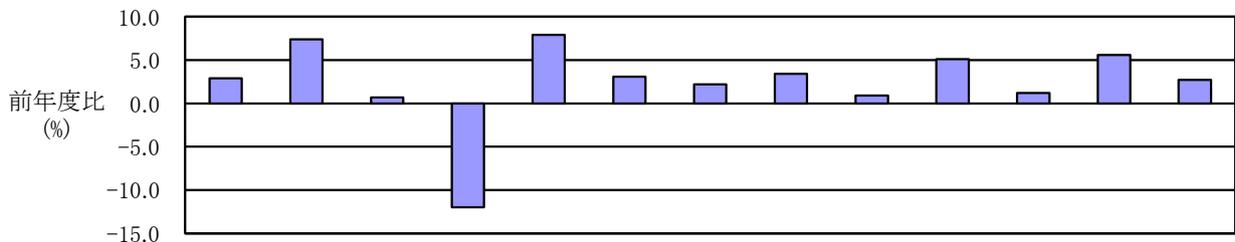
◎ 総合指数の推移



年度	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
総合指数	94.1	93.8	95.0	97.8	98.1	98.1	99.0	99.6	99.9	100.0	100.2	103.3	106.3
前年度比(%)	0.1	△0.3	1.3	2.9	0.3	0.0	0.9	0.7	0.3	0.1	0.2	3.1	2.9
生鮮食品を除く総合指数	94.7	94.5	95.6	98.3	98.3	98.1	98.9	99.6	100.1	100.0	100.1	103.1	105.9
前年度比(%)	0.1	△0.2	1.2	2.9	0.0	△0.2	0.8	0.8	0.4	0.0	0.1	2.9	2.7
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数					98.0	98.3	98.8	99.4	99.9	100.1	99.7	102.0	106.0
前年度比(%)						0.3	0.5	0.6	0.5	0.3	△0.4	2.2	4.0

費目別

◎ 前年度との比較



費目	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品	生鮮食品を除く総合
指数	106.3	114.2	102.9	99.4	122.0	105.6	101.6	95.3	100.5	108.9	103.3	114.1	105.9
前年度比(%)	2.9	7.4	0.7	△12.0	7.9	3.1	2.2	3.4	0.9	5.1	1.2	5.6	2.7
寄与度	-	2.19	0.13	△0.93	0.33	0.11	0.10	0.36	0.03	0.46	0.08	0.28	2.60

注1 この資料は、総務省統計局『小売物価統計調査』の結果に基づき、作成しています。

2 費目・品目の配列は、寄与度(総合指数の変化率に対する影響度)の大きいものから順になっています。

3 前年度比は各基準年の公表値とし、2020年基準の指数値による再計算は行っていません。(斜体部分)

4 前年度比は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合があります。

食料	114. 2となり、前年度に比べ7. 4%上昇しました。		
[上昇]	菓子類	12.1%	プリン、せんべい、アイスクリームなど
	調理食品	7.2%	うなぎかば焼き、調理カレー、コロッケなど
	外食	5.1%	すし(外食・にぎりずし)、フライドチキン(外食)など
住居	102. 9となり、前年度に比べ0. 7%上昇しました。		
[上昇]	設備修繕・維持	4.8%	火災・地震保険料、給湯器、水道工事費など
	家賃	0.1%	持家の帰属家賃など
光熱・水道	99. 4となり、前年度に比べ12. 0%下落しました。		
[下落]	電気代	△19.8%	電気代
	ガス代	△10.5%	都市ガス代
家具・家事用品	122. 0となり、前年度に比べ7. 9%上昇しました。		
[上昇]	家事用消耗品	13.0%	洗濯用洗剤、殺虫剤、トイレトペーパーなど
	家庭用耐久財	5.3%	電気冷蔵庫、食堂セット、ルームエアコンなど
	家事雑貨	5.7%	スポンジたわし、マット、鍋など
被服及び履物	105. 6となり、前年度に比べ3. 1%上昇しました。		
[上昇]	洋服	2.6%	婦人用スラックス(ジーンズ)、ワンピース(春夏物)など
	下着類	9.0%	男子用シャツ(半袖)、子供用下着、ランジェリーなど
	シャツ・セーター類	3.1%	男子用セーター、婦人用セーター(長袖)など
保健医療	101. 6となり、前年度に比べ2. 2%上昇しました。		
[上昇]	保健医療用品・器具	4.9%	血圧計、紙おむつ(大人用)、生理用ナプキンなど
	医薬品・健康保持用摂取品	4.0%	はり薬、鼻炎薬、ドリンク剤など
交通・通信	95. 3となり、前年度に比べ3. 4%上昇しました。		
[上昇]	自動車等関係費	2.3%	自動車タイヤ、自動車整備費(パンク修理)など
	通信	4.4%	通信料(携帯電話)、携帯電話機、運送料など
	交通	5.6%	タクシー代、通勤定期(JR以外)など
教育	100. 5となり、前年度に比べ0. 9%上昇しました。		
[上昇]	補習教育	3.7%	補習教育(高校・予備校)、補習教育(小学校)など
教養娯楽	108. 9となり、前年度に比べ5. 1%上昇しました。		
[上昇]	教養娯楽サービス	5.0%	宿泊料、外国パック旅行費など
	教養娯楽用品	6.7%	ペットフード(キャットフード)、鉢植えなど
	書籍・他の印刷物	5.5%	新聞代など
諸雑費	103. 3となり、前年度に比べ1. 2%上昇しました。		
[上昇]	身の回り用品	4.0%	バック(輸入ブランド品)、通学用かばんなど
	他の諸雑費	0.4%	葬儀料など